

平成29年度かながわりケジョ・エンカレッジプログラム（聖園女学院）実施結果報告書

1 日時 平成29年12月25日（月） 9時00分～12時20分

2 会場 聖園女学院高等学校・中学校 （〒251-0873 藤沢市みその台1-4）

3 参加者 聖園女学院高等学校・中学校 生徒14名（中学1年生～高校3年生）

4 内容

NPO法人日本女性技術者科学者ネットワークから講師を派遣し、理工系分野への進学やキャリア形成に関する情報を提供する講義と生徒のグループワークを実施した。

5 講師

○NPO法人女性技術士の会理事長 （株）栄設計 木村 了 氏 （全体講演会の講師）
一級建築士、一級造園施工管理技師、技術士（農村環境）
東京農工大非常勤講師

○NPO法人女性技術士の会 （株）山下設計 情報技術室 室長 廣瀬 由紀 氏
一級建築士、技術士（情報工学）

○一般社団法人日本女性科学者の会 防衛医科大学校医学教育学部 准教授 武井 史恵 氏
専門分野：有機化学、核酸化学

6 講義概要

- ・理系進路の全般的な説明と講師それぞれの経歴や仕事を紹介した。
- ・参加した生徒がグループに分かれ、講師と一緒にグループワークを行った。
- ・グループワークでは、講師に直接、仕事や進路のことを質問し、「理系進路の魅力」や、「進路を決めるために必要なこと」「好きなことを仕事にするにはどうすれば良いか」「今、できることは何か」などについて意見を交換した。
- ・グループごとに、話し合った内容をまとめて発表した。
- ・講師からは、「やりたい仕事に就くには複数の道がある。ストレートな道以外の回り道も探してみよう。」（木村氏）「技術者は、人の役に立つ仕事、後に残る仕事、問題を解決する満足感の得られる仕事ができる。とてもやりがいがある。」（廣瀬氏）「やりたいことが見つからない人もあせらずに。色んなことを経験しよう。夢は大きく！」（武井氏）とアドバイスやメッセージが送られた。

7 参加生徒の感想（一部抜粋）

- ・進む道はまっすぐではなく、色んなことを経験すべきということがわかりました。
- ・自分の将来の夢や就きたい職業について真剣に考えることができ、本当に良かったです。
- ・今までただ漠然と理系に進みたいとしか考えていませんでしたが、今日の3名の先生方のお話を聞き、「理系」と言っても、自分が知らない分野があることがわかりました。

- ・進路で迷ってましたが、理系に進むと可能性が広がるということがわかりました。将来の道を決める良い参考になりとても有意義な時間でした。
- ・一番心に響いたのは「人生は何度でもやり直せる！」ということです。理系に進む女性は少ないけれど一人じゃない。だから、自分のやりたいことを思い切ってやってみようと思いました。
- ・理系の道に進みたいと思っていますが、身近に理系の学校や勉強の話聞ける人がいません。今回の講座はとても良い機会になりました。
- ・（講師の経験を聞いて）大学で学んだ学問の範囲を超え、自分が思いもしなかった系統の職についていると知り、人生の中で自分にあった仕事がどんどん変化していき、知見を広げていけるということがおもしろく思いました。
- ・自分の目指すべき目標像が定まり、その道の課題が見えてきたように思います。

以上